**感覚運動医学講座皮膚科学分野**

**教授候補者についてのアンケート**

候補者 現職

 氏名

1. 教育
2. 卒前教育
3. 医学部学生対する講義、実習経験（担当分野と担当年数）について記載してください。年間授業数は明確なものだけで結構です。（表の記載は、例を消去し適宜行を増やして下さい）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **授業科目名** | **内容** | **学部・学年** | **年間授業数** | **区分** | **年数** |
| 例）皮膚科学 |  | 医学部3年 | 5 | 講義 | 6 |
| 例）臨床実習 |  | 医学部5年 |  | 実習 | 5 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

1. 学生のモチベーションを高めるために工夫された点を含め、これまで医学教育において試みてこられたことについて記載してください。
2. 学生に皮膚科学分野の魅力を効果的に教えるために工夫されたことがあれば記載してください。
3. ＯＳＣＥやチュートリアル教育を充実させるための方策についてお考えを記載してください。
4. クリニカルクラークシップ（診療参加型臨床実習）を充実させるための方策についてお考えを記載してください。
5. 医学教育の分野別評価基準日本版（世界医学教育連盟グローバルスタンダード 2015年版準拠）に沿った教育プログラムの見直しが各大学で進んでいます。今後いわゆる主要な診療科を中心とした臨床医学教育が推奨される中で、皮膚科学分野がどのような取り組みを行うべきか記載してください。
6. 地域における人材確保のために、学生に対する取り組みをいかにすべきか、ご意見を述べてください。また入試における地域枠に対するお考えも記載してください。
7. 研究マインドを持たない医師が増えており、将来の日本の医学・医療のレベル低下に結びつくことが危惧されています。医学教育の中で研究マインドを醸成するための方策について記載してください。
8. ウィズコロナ・ポストコロナ時代における医学教育の工夫について、ご自身の経験も踏まえて、お考えを記載してください。
9. 卒後･大学院教育
	1. 卒後臨床研修の指導に関する実績と意見・方針について記載してください。
	2. 大学院生に対する講義、実習経験（担当分野と担当年数）について記載してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **授業科目名** | **課程等** | **年間授業数** | **区分** | **年数** |
| 例）皮膚科学特論 | 医学系研究科博士課程 | 4 | 講義 | 3 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

1. 新専門医制度が開始されている中で、今後の大学院教育等による研究者育成方針について記載してください。また、学位取得時期についてもご意見を記載してください。

**２．研究**

1. ご自身の研究の特色と今後の研究の抱負について記載してください。鳥取大学に赴任した場合の研究の継続性についても触れてください。（600字以内）
2. 教室員（大学院生含む）、その他に対する具体的な研究指導実績（指導期間、指導内容、学位取得状況）を記載してください。
3. 施設・機関内における専門的な研究グループの指導的位置にあるとすれば、その名称と年数について記載してください。
4. 他施設・機関との共同研究の実績（研究グループを結成している場合は、その名称、役割および年数）について記載してください。
5. 産学連携の実績と今後の取り組みに関するお考えを記載してください。
6. 提出いただいている研究業績目録の中で、Web of Science による被引用回数の多い順に10編の原著論文とその被引用回数を記載してください。（論文の記載様式は研究業績目録と同様で、筆者名、雑誌名などもお書きください。）
7. これまでに自らが中心的役割を担った臨床研究で、UMIN，ClinicalTrials.gov，jRCT などに登録したものがあれば、その研究名、ID、自らの役割について、代表的なものを5つ以内で記載してください。論文として発表しているものがあれば、その論文名もあわせて記載してください。

**３．診療**

1. 皮膚科の専門医としての経験年数

|  |  |
| --- | --- |
| **専門医等の名称** | **年数** |
| 例）○○科専門医 |  |
|  |  |

1. 病棟・外来など診療業務での指導・管理実績について記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **内容** | **期間** |
| 例）○○医長 |  |
|  |  |

1. 外来診療における疾患カテゴリーごとのおおよそのエフォート率を記載して下さい。（代表的なカテゴリーについて記載し、それ以外はその他として合計を100％とする）

|  |  |
| --- | --- |
| **疾患カテゴリー** | **エフォート率** |
| 例）皮膚悪性腫瘍 | 20% |
|  |  |

1. これまでの手術実績があれば記載してください。2017年4月〜2022年3月までの期間に執刀もしくは指導された手術症例数につき、手術名、難易度（外保連試案2022の技術度A-E）、術者としての件数、指導した件数の順で記載してください。また、同じ期間で術者として経験した代表的手術10症例の手術記録のコピー(患者氏名、ID等個人情報はマスクしてください)を添付してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **手術名** | **難易度** | **術者件数** | **指導件数** |
| 例）○○手術 | B | 10 | 5 |
|  |  |  |  |

1. ご専門の領域における診療レベルおよび実績の向上のために、これまでに取り組まれてきたことと、今後取り組みたいことを記載してください。
2. 現代の医療で求められている診療科間の連携および多職種によるチーム医療の推進について、これまでの実績と今後の方針を記載してください。
3. 治験の実績と今後の方針について記載してください。
4. 今後の診療の抱負について、ご自身の専門分野とそれ以外に分けて記載してください。

**４．大学・施設・学会等の管理運営**

1. 大学・施設内における役職、各種委員会の名称と年数について記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **名称** | **年数** |
| 例）○○委員会　委員 |  |
|  |  |

1. 国内外での学会等における役職、各種委員会の名称と年数を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **学会名と役職・委員会等** | **年数** |
| 例）○○学会　△△委員 |  |
|  |  |

1. これまでに査読した学術雑誌の名称を記載してください。

**５．鳥取大学医学部に赴任された場合の教室の運営方針**

1. 皮膚科学を担当する上での診療・教育・研究に関する運営方針について記載してください。
2. 地域医療の中心を担う大学医学部の教室としての運営方針について記載してください。この中で、赴任後の地域医療機関への医師派遣システムに関するお考えも述べてください。
3. 教室員を増やすための方策について、これまでの取り組みや着任後の人材確保についてお考えを記載してください。
4. 地域等の関連病院との連携や機能分担に対するこれまでの取り組みと、赴任後の方針について記載してください。

**６．その他参考となる事項があればご記載ください（履歴書および研究業績目録の記載との重複は避けてください）。**